

## 第2回嘉麻市水道事業経営審議会 会議録

1. 会議名称 第2回嘉麻市水道事業経営審議会

2. 開催日時 令和8年3月24日(火) 14:00~15:20

3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎 4階 防災対策室

4. 公開又は非公開の別 公開

5. 出席者(敬称略)

(委員)

塩塚 正康、飯島 高雄、富田 豊、中村 博美、小川 史佳、松岡 康則、  
三宅 信義、縄田 洋明、吉江 瑛子、曾我部 美恵子

(※欠席委員:楠田 靖彦、頼金 豊子)

(事務局)

水道局長 柴田 英樹、水道局長補佐 藤井 敏道、業務係長 川浦 健司、  
施設・維持係長 香月 大亮

6. 傍聴人数 0名

7. 議題及び審議の内容

(1) 会長挨拶

(2) 報告

・近隣及び類似団体水道料金表について

事務局から概要説明を行った。

(委員)

嘉麻市では4立方メートルと8立方メートルで基本料金が設定されているが、他の自治体は5立方メートルと10立方メートルで設定されているところが多いが。

(事務局)

平成21年度に嘉麻市の統一料金が設定されたが、旧稲築町で4立方メートルと8立方メートルで設定されていたため、それを踏まえたものと思われる。

(委員)

口径の大きいものについて、他の自治体は高額で、嘉麻市が非常に安く感じるが。

(事務局)

ご指摘のとおり、嘉麻市の料金体系ではここを比較すると設定が低い状況になっているので、この部分については今回の料金改定の中で少し検討する必要があるのかなというふうには認識している。

(委員)

一般の市民は普段どれだけの口径を使ってどれだけの超過料金を払っているかというのはいまだにあまり認識していないのではないかと。

(事務局)

一般的な家庭は 13 ミリや 20 ミリが大体多い。また、他自治体で見られる用途別だと一般用や営業用などがあるが、嘉麻市は口径別料金となっており、メーターの大きさによって料金体系を変更していく形となっている。

(委員)

企業や官公庁も口径別になっているのか。

(事務局)

口径別となっている。

(委員)

田川広域水道企業団というのは。

(事務局)

福智町、糸田町、田川市、川崎町が共同で運営している。

### (3) 議事

#### ・水道料金算定方法について

事務局から資料に基づく概要説明を行った。

(委員)

算定期間は 5 年としているが、3 年としてはいけなかったのか。

(事務局)

事業計画で整理できている部分もあることから、できるだけ長い期間である 5 年間で黒字を確保できるように料金を設定していければと考えている。

(副会長)

5 年といったときに、いつまでの 5 年間を考えているのか。令和 13 年と 14 年に中益浄水場の改修の減価償却も入るのか。5 年後に値上げするとなるとそのショックが大きいかなと懸念するが。

(事務局)

試算の内容としては、令和 9 年度から令和 13 年度までの 5 年間の資産の総額経費を含む形で考えている。その中で資産維持費という部分で算定しつつ、一定の事業規模に応じて、内部留保資金を確保することを前提に料金の総額を設定するという部分もあるので、先ほど懸念された減価償却費等も含めて、将来的な負担部分も想定しつつ、総額の中で、ある程度整理をしていければなというふうに考えている。

(委員)

嘉麻市の給水人口はどんどん減少しているが、浄水場や配水池が 20 箇所もあるが、この縮小や廃止を検討したことはあるのか。もう 1 点、職員数が 36 人もいることについて、水道局は民間委託等を検討したことはあるのか。

(事務局)

配水池は合併後に 2、3 箇所削減している。あと浄水場を 1 つ減らしている。また、浄水場の更新の際にダウンサイジングをして能力を削減している。また、職員数について

ては削減を図りながらやっている。民間委託については検討したことがあるが、経費が逆に高くなることもあり、移行できなかった経緯がある。ただ、民間委託については、飯塚市は取り組んでいるので、参考にしながら、浄水場の運転や、水道料金の賦課徴収といったところで検討していく必要があると考える。

(委員)

分かりましたけど、浄水場と配水池は嘉麻市の人口からすると多い。飯塚市は民間委託をやっている。嘉麻市の水道局は汗をかいて住民負担を軽減するようしてほしい。

(委員)

嘉麻市の水路がどのくらいかは分からないが、コンパクトシティを推進して、削減していくことは検討できないか。また、値上げは9年度からなのか。

(事務局)

嘉麻市で保有している管路の延長は大体 400 キロメートルある。言われる通り、コンパクトシティ、密集した町並みが形成できれば施設も縮小化できるし、事業運営もやりやすくなると思う。しかしなかなか行き着かない部分もあるので、そこは企画部門を含めた今後の大きな課題のひとつのように感じる。また、料金改定の時期だが、財政計画で示したとおり、令和 10 年度には資金不足が生じる可能性があるため、令和 9 年度には料金改定をしなければ運営が厳しいというの見込みである。

(委員)

一般市民で私もそうだが、水道事業が赤字という認識は全くなかった。一般市民も知らないと思う。20%~30%上がるとなると市民もびっくりするだろうから、2年間あるので、早く広報で知らせた方が良い。

(事務局)

周知という部分については、料金改定をすとなれば、できるだけ早い時期にやらなければならないと思っている。周知のやり方についてもできるだけいろいろ検討しながら対応していきたい。

(委員)

先程から料金改定ありきで議論されていると思うが、料金改定だけでは持続できない試算だろうと思う。近年 15%~30%上げている自治体もあるようだが、これが 50%になったとしても補填の財源を確保できるのか。料金改定に加えて、事業規模の見直し、広域化ということについて市としてはどのように考えているのか。

(事務局)

今回の資料は料金を改定したらどうなるのか、という前提で資料をまとめたので、今回の資料では、経費の削減といった部分を踏まえて整理したいと考えている。また、広域化、構造改革といった部分については、国の方も広域化を推し進めている状況ではある。それを踏まえて福岡県でも県が主体となって会議が開かれている状況ではある。ただ嘉飯桂の区域で具体的に広域化でという話には行き着いていないというのが現状で

ある。

(委員)

田川広域水道企業団から水を購入するということは可能なのか。

(事務局)

やり方としてはできなくはない。

(委員)

田川の企業団から水を買った方が安いのではないか。それと、検討の材料として、50%上げてでも持続できるのかというのも次回の資料で示していただきたい。

(事務局)

田川の水道の施設の規模が嘉麻市に供給できるだけあるかどうかというのが1つの課題ではある。また、田川の広域水道企業団に嘉麻市が参加するなどの具体的な協議は行っていない。広域化に関する協議が行われているのは嘉飯桂での枠組み。

(副会長)

先月日経新聞にあったが、国が小さな規模の水道に対して、外から買ってくるというか、全部自前でなくてもできるという記事があった。その点では1年か2年ではできるような話ではないと思いつつ、将来的に考えて、現在の水道管の長さを維持していくのは水道料金の値上げだけではちょっと対応しきれないのかな、ということを含めて次回以降考えていければという風に思った。

(委員)

収益的収入が1年目から7年目にかけてだんだん少なくなっているが、人口減少等を踏まえているのか。

(事務局)

収入の減少の部分については、ご指摘の通り、給水人口の減少に伴い、実際の使用される水量が減っていく見込みを立てている。よって料金を上げたとしても実際の使用水量が減っていくので、料金としてはここに計上している金額は減っていくという見込みになっている。

(委員)

夢物語かもしれないが、逆に嘉麻市の人口がどれくらい増えたら水道は維持できるのか。

(事務局)

人口が増えた場合の具体的試算は行っていない。今後計算してみたい。

(委員)

先日、新聞で分水型水道という記事が載っていた。2026年度に国が財政支援をする。これにより旧嘉穂町の水道の未普及地域でもきれいな水が使えるようになる。そういうことから研究勉強していただきたい。

(会長)

料金を上げた場合の前提の資料や、他の自治体の値上げの状況、また、嘉麻市は、安い方というような資料になって、それはそれで事実でありつつ、先ほどご意見あったが、例えば施設の統廃合だとか、コスト削減をどう取り組んでいくのかとか、今後控えている大きな投資に対してどういうふうに対応していくのかとか、人口減少に対してどういうふうに、どういうような、水道事業として取り得る選択肢があるのかなど、そういったところまでは、今回の資料は書いてはいなかったもので、今、いろんなご意見ご指摘があったんだろうと思う。また次回、そういったところもある程度踏まえて資料を作ってもらって、またご説明いただければ、納得できる部分と、追加でまた質問したいところといったところもあるのかなと思う。様々なご意見に、重要なポイントが、いくつもあつたと思っている。広域化といったところもそうだし、広報というところも重要なポイントだったと思うし、やはりコスト削減も極めて重要かなと思う。

---

その後、資料 21 ページの承認事項の整理について確認をいただいた。

#### (4) その他

次回会議の予定について。